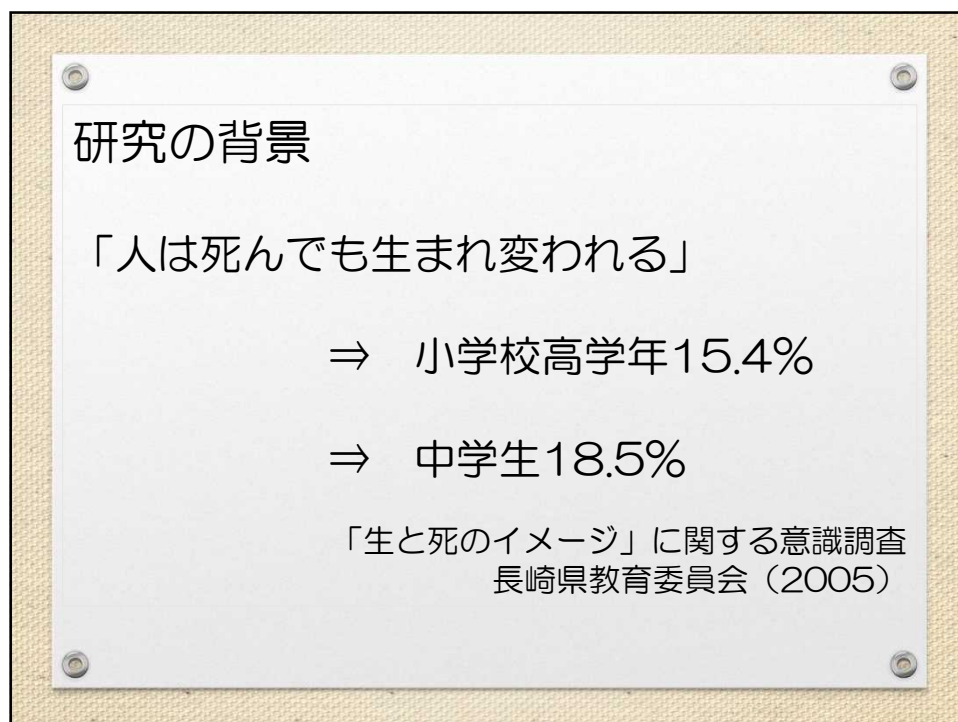


1



2

子どもの考える「死」とは

- 児童期あたりから体の機能は停止
- 再び生き返ることは出来ない死の現実的意味
- 死は自分にも起こり得ると考える

やがて

- ◆ 死後の世界への想像、願望、希望
- ◆ 年齢が高くなるにつれて「生まれかわり思想」の増加が目立つ

(仲村、1994)

3

子どもの自死

◆ いじめを訴えた遺書

北海道滝川市の小学校6年女子

(文部科学省, 2006)

◆ 学校の統廃合の中止を訴えた

大阪府の小学校5年男子

(日本経済新聞, 2013)

※ 何かを訴えるための手段として、自分の命を

4

Adler, A(1996)

⇒ 自殺には「復讐と告発」といった目的がある

Shneidman,E.S. (1993)

⇒ 選択の余地がなくなると、自死実行の可能性

※ 大人に比べて問題解決や目的達成の選択肢が限られる。

5

いじめ、叱責などによる心理的な危機で

- 自死を復讐や告発のための手段とする危うさ
- 現実検討能力の低さ
- 生まれ変わりを信じることによって、解決選択余地を狭めてしまうことになりはしないか

6

研究の目的

生まれ変わりを信じる子どもがいじめ等の心理的な危機に陥ったとき、どんな心理的なメカニズムが働くのか？

⇒ 生まれ変わりを信じる子どもと信じない子どもによるパス解析によって比較

7

2015年の調査 X県T小

対象：第4学年～第6学年
(4年54名，5年40名，6年58名)計152名

生まれ変わる：44名(28.9%)

分からない：23名(15.1%)

生まれ変わらない：85名(55.9%)

8

生まれ変わりを信じる子

- 学校が楽しくても登校渋りを抑制しない
- いじめの被害経験がある
- いじめられると死にたい思いになりやすい
- 家で褒められると死にたい思いが和らぐ

生まれ変わらないと思う子

- 学校が楽しいと登校渋りは抑制される

11

生まれ変わりを信じる子どもの特徴

- いじめられには敏感で「死にたい思い」を抱きやすい
- 家でほめられる体験は「死にたい思い」を緩和する
- 「死にたい思い」があっても表面化しにくいので察知するためには細心の注意が必要

12

引用文献

- アドラーA. 岸見一郎 (訳) 2010 個人心理学講義—生きることの科学 一光社.
(Adler, A. 1996 The Science of Living. Redditch Worcs: Read Books Ltd.)
- 文部科学省 2006 北海道滝川市における小6女子児童の自殺事件の経緯.
(http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06102402/003.htm)
- 長崎県教育委員会 2005 児童生徒の生と死のイメージに関する意識調査.
(<http://www.pref.nagasaki.jp/edu/gikai/contents/teirei/200501/isikityousa.pdf#search>)
- 仲村照子 1994 子どもの死の概念 発達心理学研究, 5(1), 61-71.
- 日本経済新聞 2013 大阪の小5自殺「学校統廃合中止を」メモ残す 2013/2/16付.
(http://www.nikkei.com/article/DGXNASDG1505X_V10C13A2CC1000/)
- シュナイドマン E.S. 高橋祥友 (訳) 2005 シュナイドマンの自殺学—自己破壊行動に対する臨床的アプローチ 金剛出版.(Shneidman, E.S. 1993 Suicide as psychache: A clinical approach to self-destructive behavior. Lanham, MD: Rowan & Littlefield Publishers, Inc.)

※ 本研究はJSPS科研費JP18K02374の助成を受けたものです。